



根知小発！ジオパークの大自然と向き合う地域防災教育 2013



(※よめないじは、おうちのひとからおしえてもらってネ)

1. コドモ防災クラブ第1回・第2回活動内容

第1回目：5月29日（水）救命法（AED・運搬法含む）・防災無線の試験放送



糸魚川市消防本部職員から病者の発見から心臓マッサージの手順、AEDの使い方、倒れていた人を安全な場所に移動させる運搬法などを指導していただきました。

次いで、学校敷地内に設置されている防災無線の使い方の指導を受け、マイクを使って地域内に試験放送を流しました。おそらく住民としては初の試みです。



胸骨圧迫 1.2.3.4...



AEDを装着し...



倒れた人を安全な所へ



防災無線で試験放送

「こちらは 根知小学校 コドモ防災クラブです たいだいま 防災無線の 試験放送を おこなっています 今日 風が とても強い日です 火災に 十分注意して おすごください 以上で 試験放送を 終わります」地域内に子どもたちの声が響き渡りました。

第2回目：6月12日（水）地震発生時のサバイバル術・クロスロード

地震発生時の正しい方法について、グループ対抗戦で、15問の問題にチャレンジしました。2グループ共に不正解だった問題は以下の2つです。

※出題は「M9大震災サバイバル術 100問 100答」山村武彦監修（成美堂出版2011年7月20日）

1. テレビで緊急地震速報が流れました。まっ先に机の下にもぐる？

A・机の下にもぐる B・部屋を出て安全な場所へ移動

2. 地下室にいました。すぐに地上に出た方がいい？

A・すぐに地上へでる B・地下室でまっている

答えは、1. 2ともB

続いて、6月15日（土）の防災研修会で行うクロスロードの問題2問にチャレンジしました。

問い1：あなたは川沿いの集落の住民

母（65歳）、妻、小学生の子ども二人の5人家族。激しい雨が降り続けている。今、洪水の危険があるとして集落に避難勧告が出たことを防災無線で知った。しかし、現在は深夜12時。

今すぐ避難する（YES） ・ 様子を見る（NO）

※全員NOでした。外は暗くて避難するには危ないのでしばらく様子を見るということでした。

問い2：あなたはボランティア

積雪の被災地で、玄関前の雪かきを頼まれた。被災者宅では、高齢の住民がこれから雪下ろしを始めようとしている。仲間が「手伝おう」と屋根に登り始めたが・・・

手伝う（YES） ・ 引きとめる（NO）

※6名がYES、4名がNOでした。NOの理由は、頼まれたのは雪かきだからでした。

大人の考えとどんな違いがあるのでしょうか？





根知小発！ジオパークの大自然と向き合う地域防災教育 2013

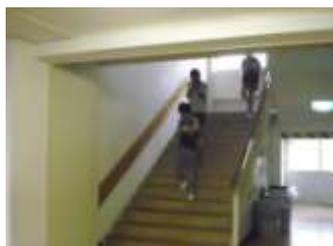


(※よめないじは、おうちのひとからおしえてもらってネ)

2. 今年もサプライズ！

6月15日(土)の午前中はフリー参観、体育館ではPTA安全指導部主催の救命法講習会(9:00~12:00)が開催されました。

10:18(休み時間中)「ジリリリリリン」**サプライズ避難訓練**！前回の第1回避難訓練と同じ火災を想定したのですが、今回は担任の誘導による教室からの一斉避難ではありません。



放送の指示を聞いて…



全員速やかに避難…



コドモ防災クラブ員へのMISSION



大人が引き継いで…

避難した体育館は、救命法講習が行われています。全員無事に避難したことを確認した後…

続いてコドモ防災クラブ員への**特別 MISSION**！「この体育館に倒れている人が数名います。クラブ員全員で救命救急に当たります。クラブ長はAEDを使用する2名を指示し…始めなさい」の指示が！

先ほどまでPTAで使用していた講習用の人形を倒れている人と仮定し、「周囲の安全よし！」「大丈夫ですか？」(反応なし)「だれか助けてください！」(だれも来ない)、呼吸の確認(呼吸なし)、胸骨圧迫…。AEDを担当した児童も電源を入れ、パッドを装着、電気ショック、胸骨圧迫…と、ほぼ講習通りに実施しましたが…だれかが応援に来てくれるまで胸骨圧迫を止められません…状況を察したPTAの皆さんが、引き継いでくれました。

3. 防災研修会・第1回地域防災懇談会を開催

防災研修会には、根知防災会役員と保護者、学校職員の計23名が参加しました。4グループ(1グループ5名)に分かれてクロスロードに取り組みました。



コドモ防災クラブで取り組んだ問い1(裏面参照：**あなたは川沿いの集落の住民…今すぐ避難する「YES」・様子を見る「NO」**)では、Aグループは「NO」4名、Bグループは「YES」が4名、Dグループは「YES」3名とグループによって異なりましたが、全体の多数派は「YES」。全員「NO」だった子どもの意見とずい分と違います。

Aグループで唯一「YES」の立場をとったある地区の区長さんは、問いと同じような深夜の土石流被害に会い、逃げられなくなった経験から、「被害にあう前に逃げる！」ことを強く主張されました。家族でも意見が異なることも分かり、深夜でも避難できる備えを家庭と地域で進めて行かなければならないという課題が見えてきました。

地域防災懇談会では、「この1年間で防災教育の定着を図ること、PTA及び根知・小滝地区防災会との共催化を図り、継続できる体制を整えること」を基本方針として取り組んでいくことを確認しました。

そして、防災キャンプは10月3日・4日とし、根知防災会と共催で行うことや水害を想定した避難訓練を実施する必要性があることを確認しました。

